

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課  
担当課長名：下保 修

<b>事業名</b>	一般県道 <small>いいのまつやまみやこのじょう</small> 飯野松山都城線 <small>すえよしまつやまありあけ</small> 末吉松山有明道路	<b>事業区分</b>	地方道
<b>起終点</b>	自：鹿児島県曾於市末吉町南之郷 至：鹿児島県志布志市有明町伊崎田	<b>事業主体</b>	鹿児島県
		<b>延長</b>	8.33 km

**事業概要**  
 都城志布志道路は、都城地方拠点都市地域の中心都市である都城市と南九州の中核国際港湾である志布志港を結ぶ地域高規格道路である。  
 末吉松山有明道路は、都城志布志道路のうち曾於市末吉町南之郷から志布志市有明町伊崎田に至る延長約8.3kmの道路改良である。物流関連の大型車両が多いにもかかわらず、連続した急カーブ、急勾配が多く存在していることから、安全で円滑な交通の確保を図り、災害時の緊急輸送の確保とともに、社会生活圏の拡大や産業経済の発展を促進させることを目的として整備を行う。

H9年度事業化 H 年度都市計画決定 (H 年度変更) H10年度用地着手 H11年度工事着手

全体事業費 153億円 事業進捗率 98% 供用済延長 4.2km  
 計画交通量 11,600台/日

<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)	基準年
	1.8 (残事業) 6.0	71/242億円 事業費：3.0/174億円 維持管理費：68/68億円	428/428億円 走行時間短縮便益：399/399億円 走行費用減少便益：24/24億円 交通事故減少便益：4.5/4.5億円	平成18年

### 感度分析の結果

**事業の効果等**  
 ・物流効率化の支援（中核国際港湾志布志港へのアクセス向上）  
 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路）

**関係する地方公共団体等の意見**  
 都城志布志道路建設促進協議会や地元から整備要望が出ており、用地取得交渉に地元市が同行するなど全面的な協力が得られている。

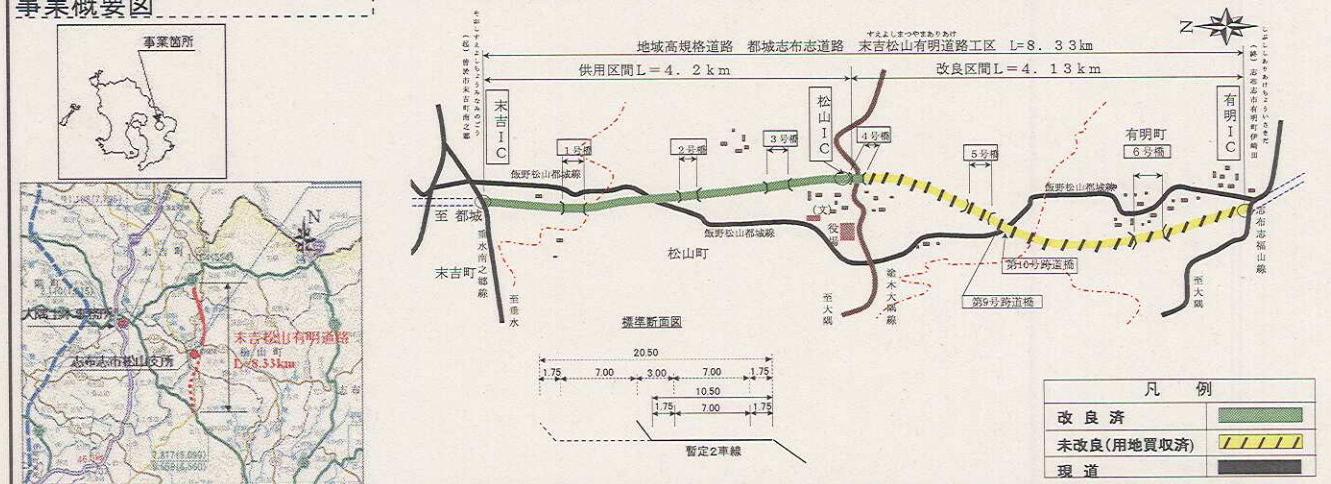
**事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等**  
 志布志港の取扱コンテナ量が急速に増加（H6/H9=22.9倍）しており、平成19年度には5万t級船舶が寄港可能な岸壁が供用予定である。

**事業の進捗状況、残事業の内容等**  
 平成16年度までに4,200mの改良工事を完了し供用開始を行った。残る区間についても用地買収を終え改良工事を進めている。

**事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等**  
 全体としては計画通りに進んでいるものの、関係機関（埋蔵文化財センター）との調整に不測の期間を要した。平成19年度供用開始を目指して工事を進めている。

**施設の構造や工法の変更等**  
 コンクリート2次製品の積極的な活用や再生骨材の採用によりコストの縮減を図るとともに、発生残土については他事業流用を図り工費縮減に努めている。

**対応方針** 事業継続  
**対応方針決定の理由**  
 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。